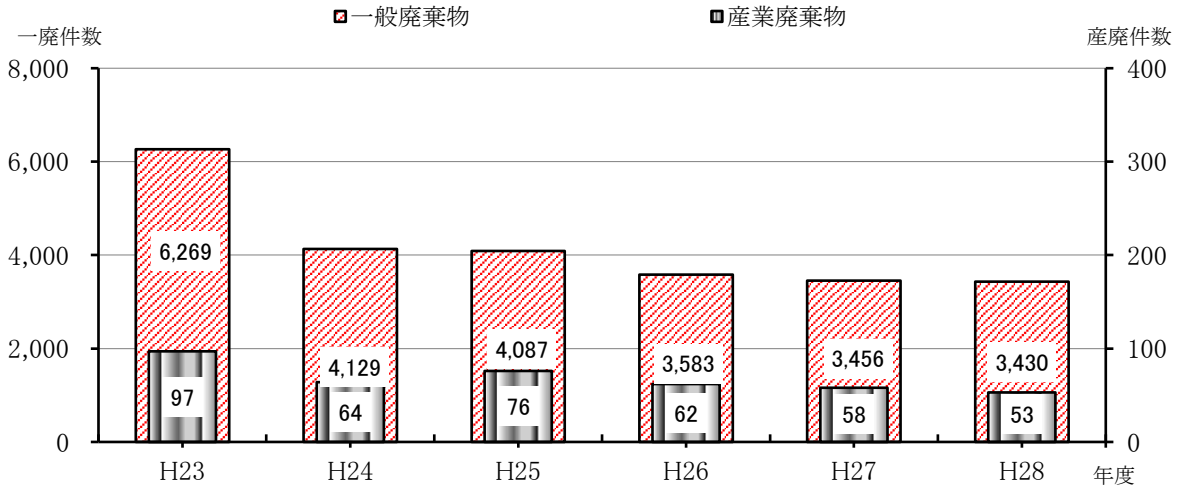


廃棄物不法投棄及び野外焼却発見の状況

1 不法投棄の発見状況

一般廃棄物の発見件数は、平成23年度以降減少傾向で推移しています。

また、平成28年度の不法投棄発見件数全3,483件のうち一般廃棄物は3,430件であり、全体の約98%を占めています。

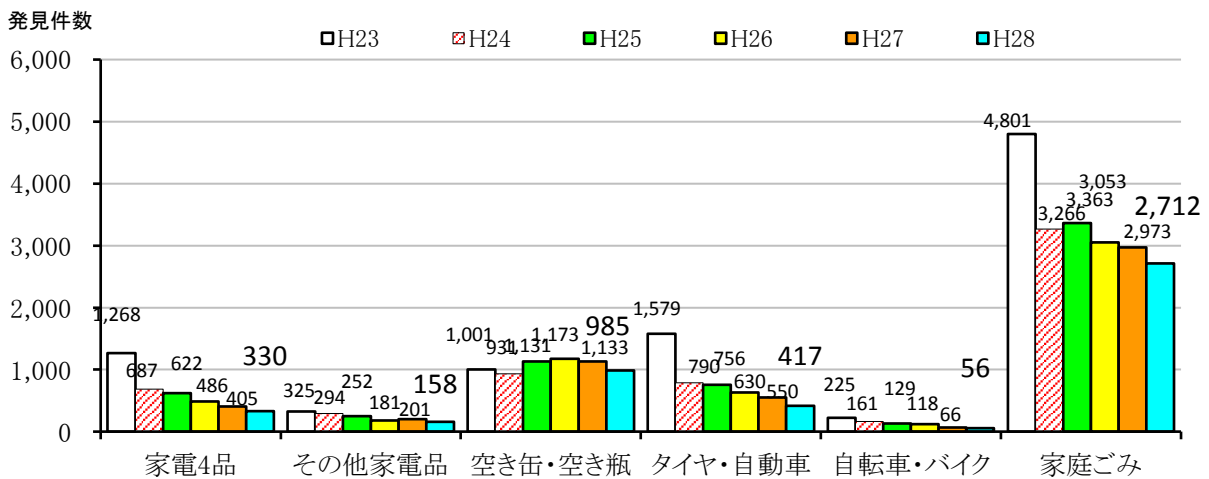


(注) 産業廃棄物には混合（産廃+一廃）を含む。

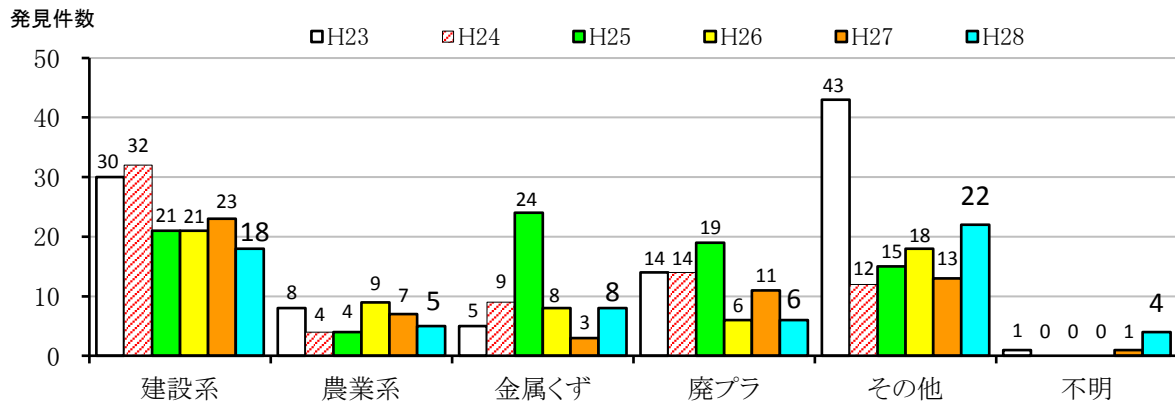
区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28
一般廃棄物	6,269	4,129	4,087	3,583	3,456	3,430
産業廃棄物	97	64	76	62	58	53
計	6,366	4,193	4,163	3,645	3,514	3,483

2 不法投棄廃棄物の種類

一般廃棄物では、依然、家庭ごみの不法投棄が多くを占めています。

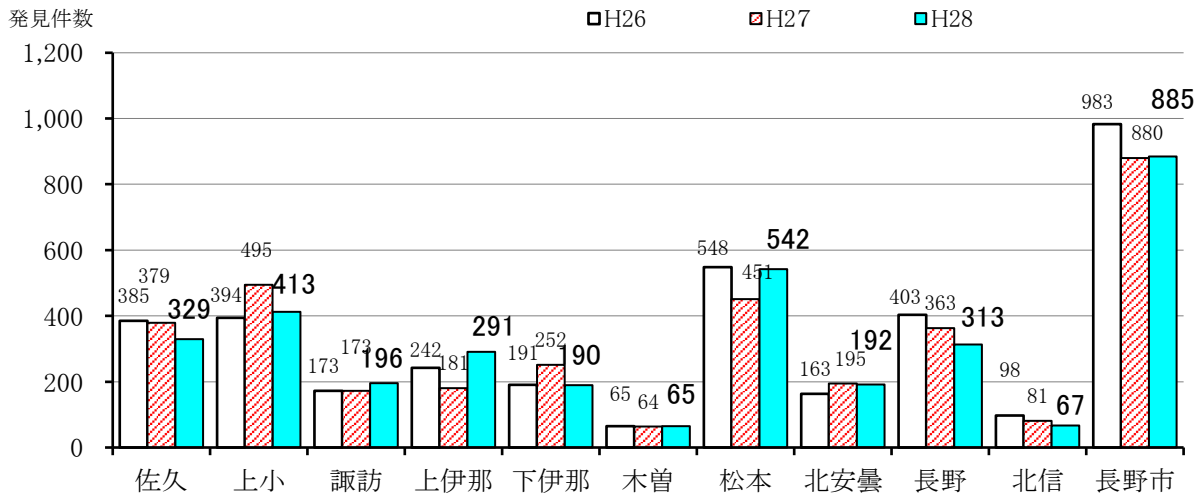


産業廃棄物では、建設系廃棄物の割合が依然高くなっています。



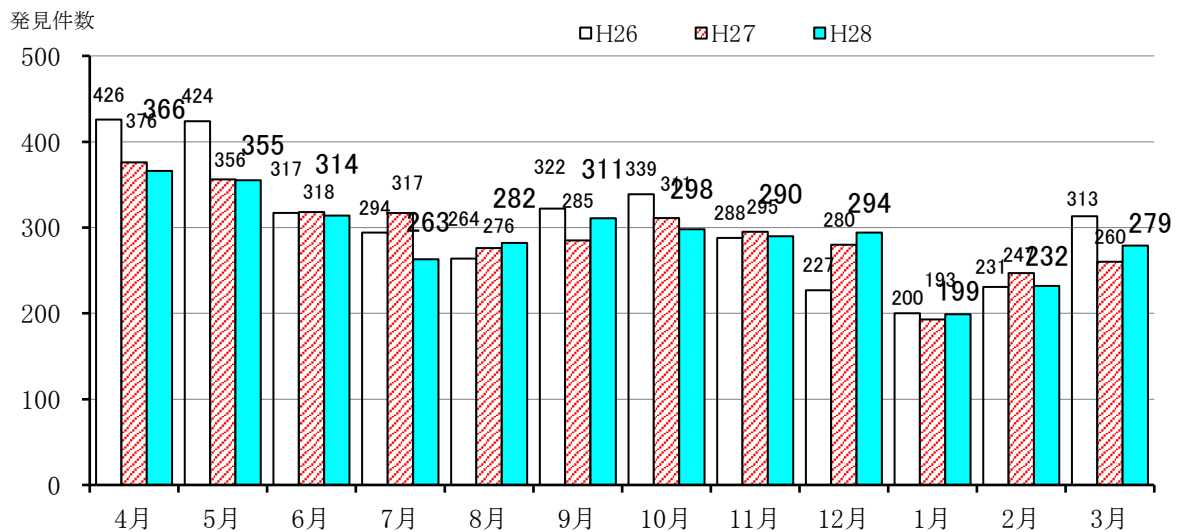
3 不法投棄の地域別状況

不法投棄の発見は長野市が最も多く、続いて松本地方事務所、上小地方事務所の順になります。



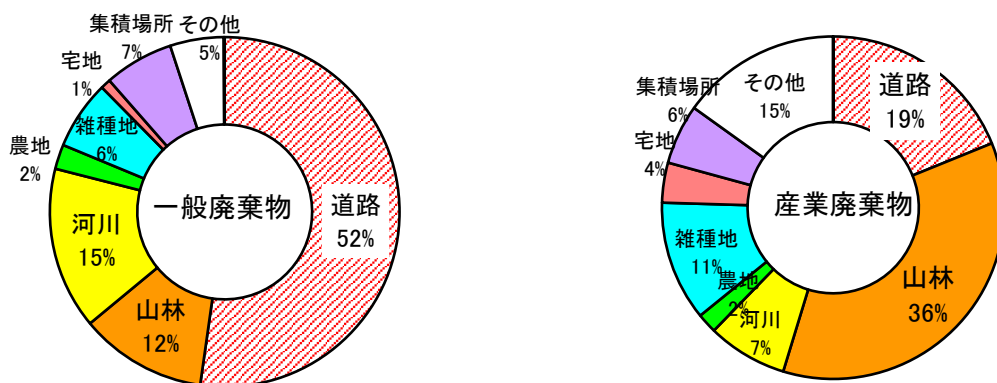
4 不法投棄の月別状況

春と秋に多く発見されています。冬は雪に覆われるため発見が少なくなります。



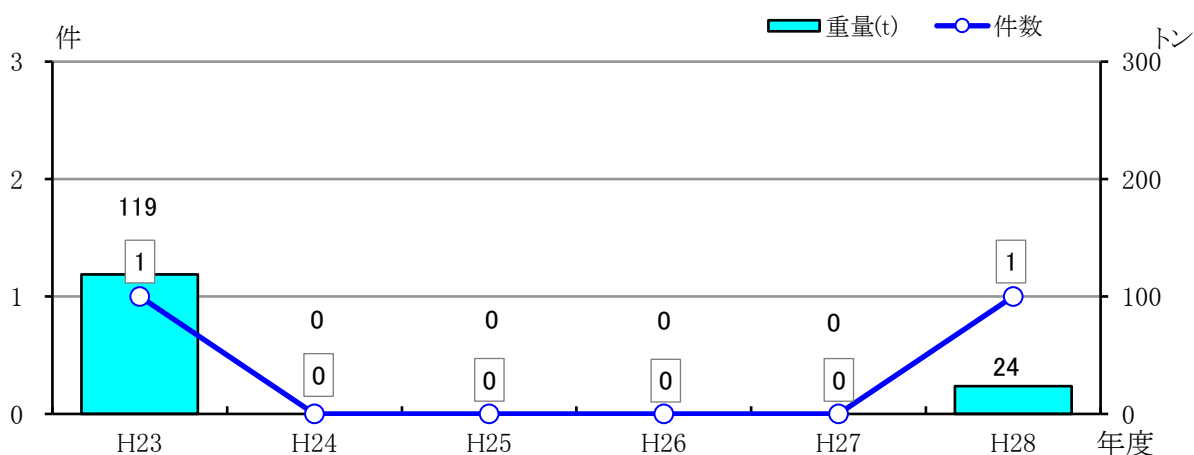
5 不法投棄の発見場所

不法投棄は、人目につきにくい道路、山林、河川などで多く発見されています。



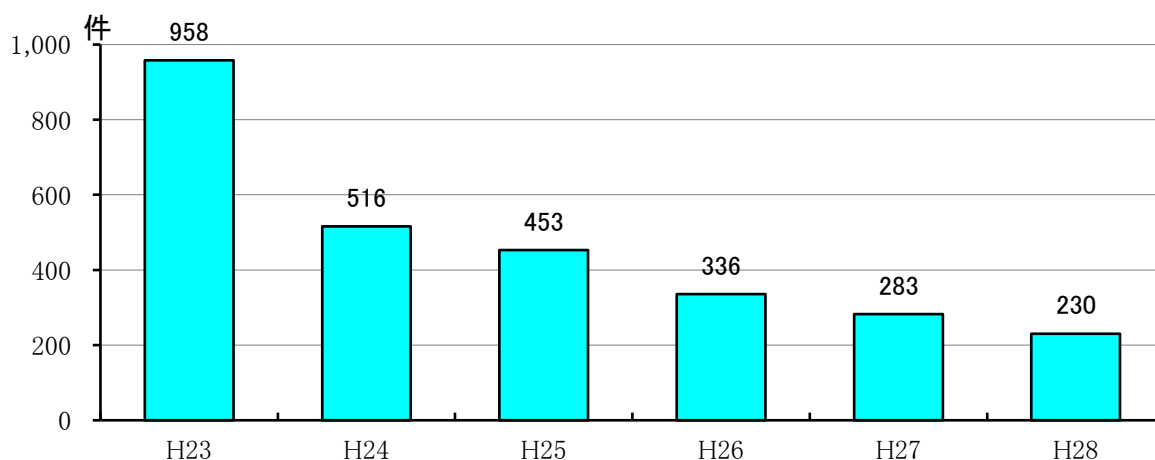
6 大規模不法投棄の状況

産業廃棄物の大規模不法投棄（10 t 以上）は、平成28年度に1件発見されています。



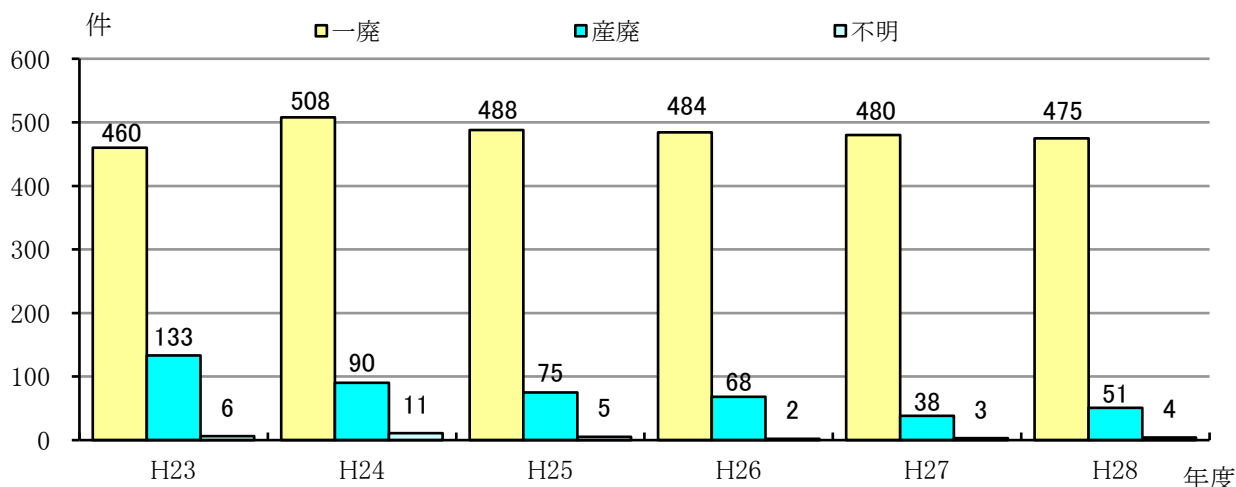
7 不法投棄に含まれるテレビの発見件数

地上波デジタル化に関連して、平成23年度はテレビの不法投棄が増加したと思われ
ますが、平成24年度以降減少に転じています。



8 野外焼却の発見状況

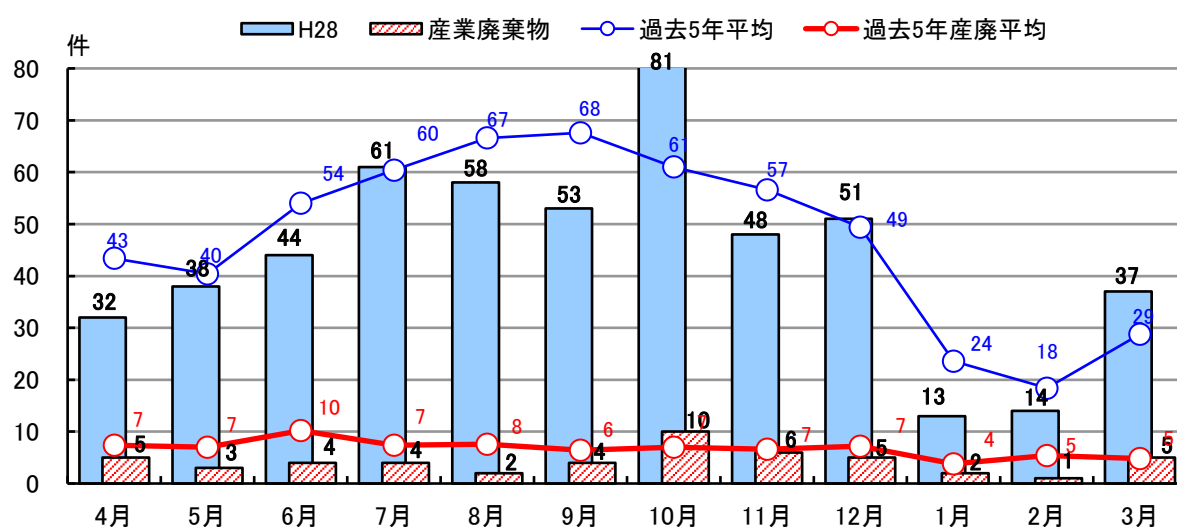
平成28年度の野外焼却の全発見件数530件のうち一般廃棄物の野外焼却は475件であり、全体の約90%を占めています。



区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28
一般廃棄物	460	508	488	484	480	475
産業廃棄物	133	90	75	68	38	51
不明	6	11	5	2	3	4
計	599	609	568	554	521	530

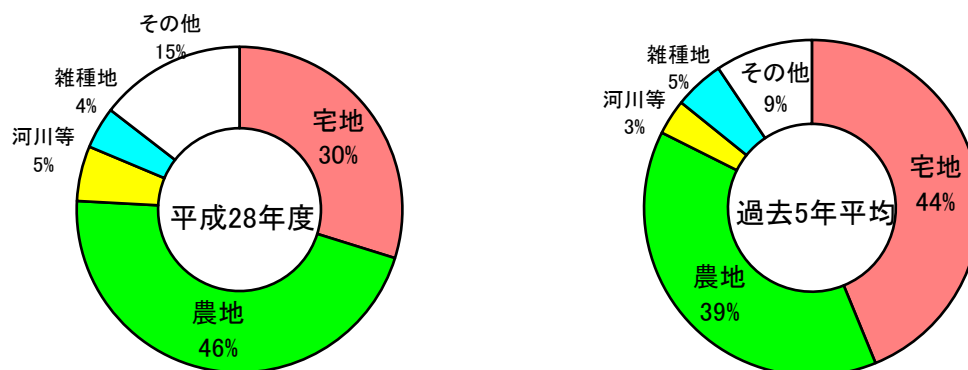
9 野外焼却の月別状況

野外焼却は、冬は発見件数が少なくなっています。



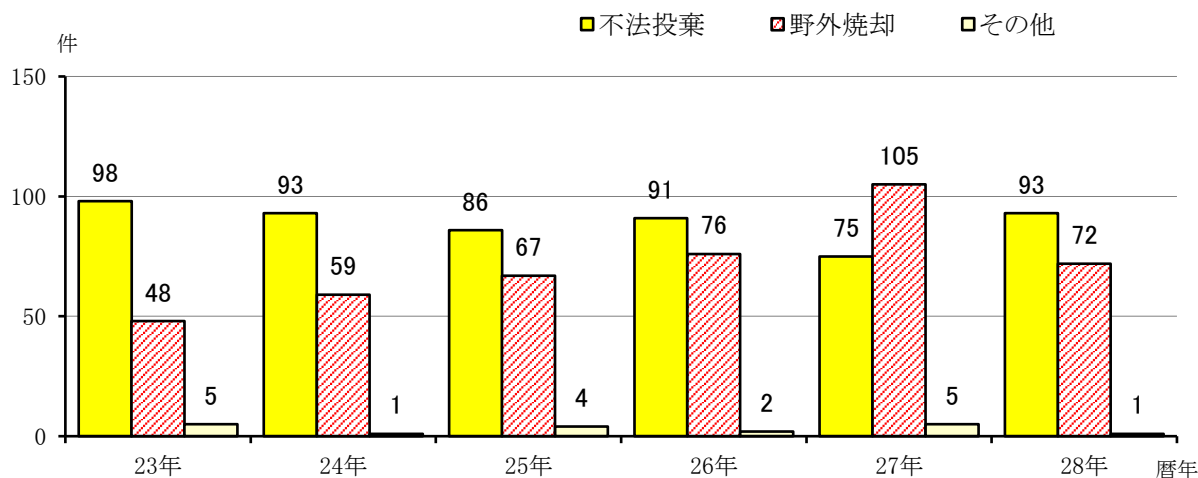
10 野外焼却の発見場所

発見場所としては宅地・農地が全体の3/4以上を占めています。



11 警察において検挙した廃棄物処理法違反件数

近年、野外焼却に係る検挙件数が増加傾向にあります。



資料提供：長野県警

12 廃棄物処理法違反の罰則

不法投棄や野外焼却は、自然環境や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。原因者は撤去を求められるとともに、重い刑罰が科せられます。

刑事処分

個人	5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金、又はこの併科
法人	3億円以下の罰金